

## **Gallo Acoustics TR3D 取扱説明書**



## Gallo Acoustics TR3D 取扱説明書

この度は、Gallo Acoustics TR3D（サブウーファー）をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。

本製品は、可能な限り小型でありながら、ハイレベルなサブウーファーのパフォーマンスを保つように設計されました。まるで正反対の目標ですが、TR3D は非常に小さな筐体でありながら、リニアな周波数特性と強力な出力パワーを兼ね備えています。設置場所が大きな部屋であったとしても、ご満足いただける十分なパワーを備えています。シアターシステムに求められる爆発音や地鳴りのような迫力ある重低音の再生はもちろん、ピュアオーディオ再生に好適な、風のような重低音の再生も可能な優れた高品質サブウーファーです。

直径 25cm のカスタムメイドウーファーユニットを採用し、TR3D は 300W 出力の D 級アンプと一緒に、直径 27cm、高さ 30.4cm、奥行 34cm の円筒の筐体に納められています。

この取扱説明書をお読みいただき、TR3D を正しく設置して下さい。

Gallo Acoustics の製品に関して何かご不明な点がありましたら、弊社までお問い合わせください。お客様の貴重なご意見をお待ちしております。

## 調節について

以下の各種調節スイッチ等は本製品の背面に位置します。次ページの図も一緒にご参照下さい。

### 1-モード LED:

TR3D の状態により、LED の色が変わります(詳しくは 12-電源スイッチを参照)。

### 2-クロスオーバー周波数:

50Hz～180Hz 可変。サブウーファーで再生する高域限界周波数(Hz)を選ぶことで、多種多様のステレオスピーカーにマッチングさせることが可能です。

注: Micro Satellite シリーズと一緒にご使用の際は、クロスオーバーは 120Hz に、A'Diva の場合は 80Hz に設定される事を推奨します。その後お好みに合わせて微調整してください。

### 3-BYPASS/CROSSOVER TOGGLE:

お使いの AV アンプにサブウーファーのクロスオーバーの設定がある場合は、このスイッチを「BYPASS」にすることにより AV アンプ側でクロスオーバー周波数を設定することができます。クロスオーバー設定が無い 2ch プリアンプを使用する場合には「CROSSOVER」を選択し、1 のつまみでクロスオーバーを調節してください。

### 4-フェーズ:

通常(0 度)から反回転(180 度)までの調節で、サブウーファーの再生位相を選べます。

### 5-BASE BOOST:

0、+3dB、+6dB の 3 ポジションからお部屋の大きさやお好みに合わせて選択してください。サブウーファーのレスポンスを段階的に増加できます。

### 6-LEVEL:

メインスピーカーの再生能力に合わせてサブウーファーの音量を調節してください。右回りにノブを回すとレベルが高く、左回りに回すと低くなります。

### 7-LINE IN(入力):

RCA ケーブルを使用して AV アンプと接続する場合に使用します。AV アンプ側に「LFT」や「SUB」の出力が 1 系統しかない場合には、この端子の LEFT/RIGHT どちらかに接続してください。なおステレオプリアンプと接続する場合には LEFT/RIGHT 両方の接続をお勧めします。

### 8-LINE OUT(出力):

2ch プリアンプに RCA 出力が 1 系統しかない場合、プリアンプから 7-LINE IN へ接続し、この端子からパワーアンプの RCA 入力端子へ接続することで、もともとの 2ch ステレオシステムへプリ出力を供

給します。

#### 9-HI LEVEL IN:

スピーカーケーブルを使用して、本製品をプリアンプなどに接続するためのもの。ラインレベル出力が無い場合、もしくは(低音成分がステレオ用スピーカーをダメージするのを防ぐ為に)「HIGH PASS」フィルターが必要な場合に利用します。100Hz以下の信号を再生します。

#### 10-HIGH LEVEL OUT:

9-HI LEVEL INに入力された信号が出力されますのでメインスピーカーのスピーカー端子へ接続してください。メインスピーカーへ出力される信号は 100Hz 以上になります。

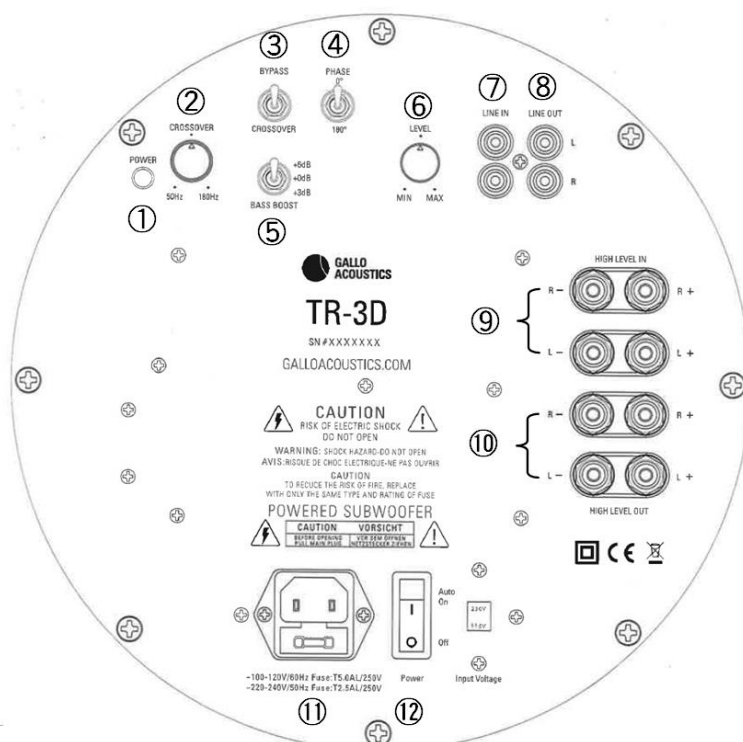
#### 11-AC 電源ソケット/フューズ:

AC 電源(100V)をアンプモジュールに供給します。電源に異常があった場合にはすぐに電源ケーブルを外してください。フューズは電源ソケットの下のカバー内に入っています(日本の環境では、T4A 250V フューズをお使い下さい)。

#### 12-電源スイッチ:

スイッチを ON 側にすると電源が入り、1-モード LED の LED が赤く点灯します(この状態はスタンバイ状態です)。音楽信号を入力すると LED が緑の点灯に変わり TR3D が駆動します。無信号状態が一定時間続くと LED が再び赤の点灯に変わり TR3D はスタンバイ状態に入ります。スイッチを OFF 側にすると LED は消灯し電源が切れます。

注意： 電源スイッチの ON/OFF 操作時はレベルを「0」の状態にしてください。



1. MODE SWITCH
2. CROSSOVER DIAL
3. BYPASS/CROSSOVER TOGGLE
4. PHASE TOGGLE
5. BASS BOOST TOGGLE
6. LEVEL
7. LINE IN
8. LINE OUT
9. HIGH LEVEL IN
10. HIGH LEVEL OUT
11. PLUG RECEPTICAL & FUSE DRAWER
12. POWER SWITCH

**接続方法について**

ご購入いただいた本製品をよりよくご使用いただくためにも、以下をよくお読みください。

**ラインレベル接続：（ピンケーブルによる接続）**AV アンプとの接続方法

ホームシアターユースのほとんどの場合、ラインレベル出力を使います。AV アンプの背面出力端子に「LFE」出力又は「サブウーファー」出力があり、通常は RCA ピンケーブルを使い、AV アンプの出力端子と本製品の「LINE IN」端子を繋ぎます。左右どちらの「LINE IN」端子に接続しても構いません。この設定では、お手持ちの AV アンプの低域設定がデフォルトとなります。

**注意：** AV アンプ側で再生周波数の設定を行う場合は、背面の 3-BYPASS / CROSSOVER スイッチを「BYPASS」にしてください。また、2ch プリアンプと接続する場合には「CROSSOVER」にして、1 つまみで再生周波数を設定してください。

**注意：** 本製品の「LINE IN/OUT」端子には、クロスオーバー又はハイパスフィルターは含まれていません。「LINE OUT」端子から出力した信号を別のパワーアンプで増幅し、Micro Satellite や、低音再生に限界のあるスピーカー等を鳴らす場合には、スピーカーが低音の再生限界に達して損傷する事を防がなくてはならないため、AV アンプのメニューから、メインスピーカーのサイズを「Small」に選択して下さい。アンプにそのような設定が無い場合には、下記の「ハイレベル接続方法」をご参照下さい。

**ハイレベル接続方法：（スピーカーケーブルによる接続）**

AV アンプのスピーカー出力、もしくはパワーアンプからのスピーカー出力を、9-HIGH LEVEL IN へ接続し、10-HIGH LEVEL OUT からメインのスピーカー端子へ接続してください。それにより、100Hz 以下の信号は TR3D が受け持ち、それ以上の帯域の信号はメインのスピーカーが再生するようになります。

**TR3D の設置方法：**

本製品は小型サイズである為、本体を簡単に隠す事が可能です。最高の低音再生のためにも、以下の事をご確認下さい。

## 1. フロントファイヤリングウーファー設計

TR3D は、フロントファイヤリングのアコースティックサスペンション(密閉型)方式筐体です。

## 2. 設置場所によって低音出力が左右されます

本製品を壁の近くに設置すると、フリースペースに設置した時よりも出力が聴感上2倍(+3dB)になります。コーナー設置(部屋の角等)の場合は、出力は聴感上さらに倍(+6dB)になります。大きい、又は音響上吸音性の高い部屋では、壁の近く又はコーナーに設置した方が、低音の増加につながるかもしれません。

## 3. 設置方法により音質は変化します

試聴スペースの形状によって、サブウーファーの音質は著しく変わるかもしれません。どのサブウーファーにも、最適な設置場所があります。お好みの場所が見付かるまで、設置場所を変えてみて下さい。

### **最終調整**

本製品が適切に接続され設置されたら、背面のつまみを調節する事により、更に最適なパフォーマンスが楽しめます。調整には、男性の低い声が収録されたものを使用するほうが良いでしょう。

まず、音量レベルの調節から開始します。つまみを右回りに回し、他の周波数帯域より低音出力がはっきりと大きくなるまで、サブウーファーの音量又はレベルを上げます。更に、低音と残りのオーディオ周波数のバランスが良くなり、サウンドがサブウーファーから直接出ていることがわからなくなるくらいまでレベルつまみを左回りに回し、低音出力を下げます。調整時の判断はリスニングポジションで行って下さい。

次に、クロスオーバー周波数は正確に設定しなければなりません。アンプモジュールのクロスオーバー周波数つまみを使って、本製品を再生する最大周波数を決定します。クロスオーバー周波数のつまみをそれぞれ左右に回し、交差点を増減させます。クロスオーバー周波数の設定が高すぎると、男性ボーカルの低音が大きすぎてしまいます。低すぎると、同じボーカルが今度はか細くなってしまいます。声音が自然に聴こえるポイントを探して下さい。

**注意：**低音は無指向の特性を持っています。しかし、クロスオーバー周波数を高くして(約100Hz以上)お使いの場合には、指向性のある情報を再生する事があります。これが極めて目立つようであれば、サブウーファーをステレオスピーカーに近づけて、再生音の調和を取るとよいでしょう。

最後に、4-PHASE スイッチを考慮しなければなりません。スイッチの位置を 0 度と 180 度の両方で試してみましょう。正しい設定とは、サブウーファーとスピーカーとの深い低音、又は最も「均一な」調和を意味します。フェーズが正しく設定できた後は、必要に応じて、6-LEVELと2-クロスオーバー周波数つまみを再調整して「最終チューニング」を行います。

これらのサンプルインストラクションに従い、設置と調整を試すことで、より素晴らしいパフォーマンスが楽しみいただけます。

Gallo Acoustics の最新情報については、<http://www.anthonygallo.jp/> をご参照下さい。

### **TR3D の主な仕様**

再生周波数:	18Hz – 180Hz(±3dB)
最大出力:	300W/rms(最大出力 600W)クラス D
位相:	0°~180°切り替え
ローパス周波数:	50 -180Hz 可変(LFE バイパススイッチによって可変)
ハイパス周波数:	100Hz 固定(ハイレベル接続時のみ)
ベースイコライザー:	30Hz を中心周波数として 0、+3dB、+6dB
スイッチ:	AUTO/ON/OFF(トグルスイッチによる切り替え)
寸法:	W275 x H305 x D345 mm
重量:	16Kg
仕上げ:	ブラック
付属:	電源ケーブル、RCAピンケーブル(5m)、 3ピンアダプター、取扱説明書、保証書
保証:	2年間(パーツ及び作業費用)

**Gallo 製品の制限付き保証について***-保証について-*

ご購入日から 2 年間にわたり販売店を通じて製品の無料保証を致します。お買い上げ日の入った領収証と保証書を大切に保管下さい。詳しくは保証書をご覧ください。

以下の場合には保証の対象にはなりません。

- 1) ご使用上の誤り、お買上げ後の輸送、移動、落下などによる損傷、自然災害などによる損傷
- 2) シリアル番号が変更されている、もしくは無い場合
- 3) 取扱説明書、保証書に記載されている範囲外の操作が行われた場合
- 4) 不当な修理や改造を行った場合

*All other warranties, express, implied or statutory, including but not limited to warranties of merchantability or fitness, and all other obligations or liabilities of Gallo Acoustics are limited in time to the period of warranty granted hereby.*

輸入総代理店  
フューレンコーディネート  
0120-004884